

ドーピング検査車両



・ベース車

日野 プロフィア

・寸法

全長11,000mmx全幅2,490mmx全高3,560mm

・特徴

日本アンチドーピング機構(JADA)が各地の競技会場で、ドーピング検査を実施するために導入した車両です。

車内は待合室や作業室、採尿室に分かれており厳正で正確な検査を目的として運用されています。

IOC委員へのオリンピック招致活動でメディアに紹介された、公認では世界に1台しか無い車両です。



● 詳細

車体右側を拡幅させることで、室内を拡張して使用出来ます。
拡幅部分を支えるジャッキを必要としないため、展開や収納作業も自動制御により簡単に短時間で行えます。



室内は拡幅しても床に段差が無くスムーズな移動が可能です。
冷暖房を装置を備えていますので、年間を通じての使用も快適です。

